

連盟ニュース

303

神奈川 4

2010.4.13

『甲斐駒ヶ岳と桜』(山梨県・北杜市にて) 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

巻頭言 2010年神奈川での山岳会活動に活力を与えよ	会長 中山建生	2
第32期連盟理事・役員名簿		3
日本勤労者山岳連盟創立50周年記念に思う	会長 中山建生	3
全国連盟創立50周年記念講演会・レセプション		5
2010年原水爆禁止国民平和大行進に参加しましょう	事務局	6
2010丹沢クリーンハイクチラシ		7
リーダー学校感想・卒業山行を終えて	荻原富佐子 神野雅幸	9
「2010丹沢クリーンハイク」第3回実行委員会報告	大用ユキ子	11
3月事務局長会議の報告	事務局長代行 中山建生	12
登山計画書の記載と提出、現地との対応に使われる時	副会長 中山建生	13
4月常任理事会報告	副理事長 田村和寿	13
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		15
登山時報紹介 17 / 県連のスケジュール / 全国会議行事予定		18



神奈川県勤労者山岳連盟
 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
 TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>
 発行責任者 後藤 真一
 振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228
 他金融機関からは 029店 当座0015228

2010年 神奈川での山岳会活動に活力を与えよ

2010.4.5 常任理事会を終えて 会長 中山建生

神奈川での連盟創立は今年で42年目となります。全国連盟は50年を迎えての記念行事が5月30日の東京を皮切りに各地で開かれる予定です。さて今年の県連盟総会では組織の強化を訴え、具体的には理事の選出を各会の会員数に応じて送り出す責任をもつというお互いの約束をしました。形のうえでは規約規定の整備ということになりますが、連盟の組織としての力が衰えて、本来山岳団体が期待されている活動、現実に必要な運動が人的な資産がないために困難か、不能になっていることにあります。

私が連盟と関わりを持ったのは70年代後半でした。当時の連盟にも同じような問題を抱えていました。理事のなりてがいない、後継者を育てていない、活動にふさわしい予算措置が組まれない。各会の現状も似たり寄ったりで会員が例会に集まらない。連盟費(会費)が集まらない。機関誌が配られない。小さな事故が続出しました。決めたことが守られないという有様でした。それ故、会員は連盟にも会にも関心を持たず、連盟役員が一生懸命でも期待されないし、一部の役員は口先だけで信頼もされませんでした。だれも連続して役員のなりてがなくいつもの顔触れが変わりませんでした。勤労者山岳連盟の創立当時は登山といっても力のある人たちは日本山岳協会や日本山岳会に入り、彼らからは登山は素人の集団で偉そうなことを言っていると馬鹿にされ相手にもされなかったのです。すこしづつ登山は力をつけ谷川岳に登れるようになり、冬山にも行けるようになったのが70年代の特徴でした。岩登りをする人たちはハイカーの面倒を見ていたら自分たちのことができないからと表向きの理屈はそれぞれが自立した活動を求めるとしてハイキング志向の人たちとの分離をはかったのもこの頃でした。神奈川の分離もこの考えが背景にあったため、ハイ

キング会の規約には「岩と冬山はやらない」という趣旨の文言が残っています。一時、登山とハイキングの違いとはと全国的な議論になりました。何年か前に全国の総会の文書に「ロマンを求める」という表題がしきりに載りました。趣旨には全く異論はありません。ですが、会にロマンを語りこれを実現する力がありませんでした。その原因は会員の心が冷えて、徒に理屈に走り、責任を以て活動しない気風が蔓延するようになったからです。少し登れるようになると慢心や権威をひけらかし、会の中でも派閥争いが生まれました。ある人数に達すると会員拡大は停止しました。「新人の面倒はみてもらえない」という本音ができるようにもなりました。わがままや自分本位の行動が当たり前となったのです。登山の技術は身につけても登山者=スポーツマンとしての人格形成は放棄されたのです。私は雪崩教育をする専門家の一人ですが、事故の背景にはかならず登山者としての自立のなさや我がまま、勝手があり、これが行動に反映していました。今日のこの現実さらには進んでいます。遭難事故を起こさないという山岳会の責任を全うしていないのです。この状態を変えようと提案しました。分かりやすく言えば、従前の経験や慣れを廃して面白くためになる活動をし、どうせやるなら気持ちが前に向いていくようにという単純なことです。しかし、たやすくはありません。なぜなら後ろを向いてしまった気持ちや意欲を逆転させ、前をむかせなくてはならないからです。多くの方は何もなしというから「できない」と身を退きます。そうではなくて実行して、体験してできなければそのとき言えがいいのです。全国に目を向ければ各地で優れた人たち、活動する人たちがいます。神奈川だけでの狭い視野から抜け出してみましょう。引っ込み思案でなく、よしできることをやってみようという気持ちです。

神奈川勤労者山岳連盟第32期理事・役員名簿(2010.4)

常任	役職		氏名	会名	電話・携帯・メール
	会長		中山 建生	みずなら山の会	045-931-2291 090-3597-3418
	副会長				
	理事長	教育部長	後藤 真一	山岳素行童人メ グリ家・カモの会	090-1663-8890 kamog-510@mbp.nifty.com
	副理事長	遭難対策部長	田村 和寿	相模A C	
	副理事長				
	委員長	自然保護委員会	大用 ユキ子	川崎H C	
	委員長	ハイキング委員会	増田 徹	横浜H C	
		事務局	池上 準子	横浜H C	
	機関誌	事務局・自然保護	三上 茂	横浜こぶしの会	
	財政	事務局	蝦名 政次	相模A C	
	救助隊長	救助隊	海輪 利昭	川崎柴笛クラブ	
		救助隊	小野 郁生	A C横浜	
		救助隊・教育部	宮沢 春美	川崎柴笛クラブ	
		救助隊・教育部 遭対部・事務局HP	鳥越 章夫	小田原ナーゲル山 の会・カモの会	
	副部長	教育部	三瓶 健	山岳素行童人メ グリ家	
		教育部	大澤 正哉	川崎柴笛クラブ	
		教育部	浅原 健一	カモの会	
	副部長	遭難対策部	丸山 久直	藤沢山の会	
		遭難対策部	山崎 弘介	カモの会	
		ハイキング委員会	加藤 正敏	藤沢山の会	
		ハイキング委員会	小林 悦治	川崎H C	
		ハイキング委員会	当山 利雄	川崎H C	
		自然保護委員会	磯部 津輝子	地平線の会	
		自然保護委員会	高橋 勇三	藤沢山の会	
	会計監査		芹田 勇	川崎労山	
	会計監査				

日本勤労者山岳連盟創立50周年記念に思う

2010.4.5 神奈川県連盟 会長 中山建生

来る5月30日東京にて創立50周年の記念レセプションが開かれ、同日(社)日本山岳協会との合同主催として「AA登山者教育のスタンダードを学ぶ」ステイブ・ロング氏による講演会が早稲田大学にて開かれる。

ひとつの山岳団体が50年にわたる活動を続けてきたことを祝う目的であり、私たちの先人たちの苦労や教訓から今なにを得たいののだろうかと思う。はたまた世界の登山運動あるいは活動は何を目指してこれからを見

据えているのだろうか。時代は若者たちに限らずあらゆる面で不透明であり混沌としている。勤労者山岳連盟が創立される1960年代はおそらく今よりはるかに登山条件やスポーツを実現するには休暇に貸金、制度的な環境など劣悪で厳しいものがあつた。古い世代の人たちは日米安全保障条約の締結は日本に平和をもたらさず、アジアの緊張を高め、再び戦乱の道を歩むことになるとして反対の運動を起こした。政治的な問題だけでなく地域の文化や教育、スポーツまでを対象にした国民

的な大きな運動として盛り上がった。

勤労者山岳連盟の創立もこれを期にかけての登山、山岳会の運営などを大幅に見なおして、国民のだれもが登山を楽しめるスポーツとして普及しようとした。この願いは勤労者山岳連盟の創立の趣旨=趣意書に印された。

その当時「登山は(国民の)権利である」と主張し、他のスポーツとは異なるものとしてめずらしい論理展開をした。例えば「マラソンは権利である」とか「卓球は権利である」とは主張されなかった。登山に関しての権利の主張は具体的な中身で見ると、休暇の獲得であり、登山をするために必要な賃金の要求であり、他のスポーツと同等に扱えという要求に現われた。

スポーツ一般に対する国民のスポーツ権という主張は外国では当たり前のもので、ヨーロッパではスポーツ憲章として知られている。スポーツ権とはなにか。人間の人格、成長には労働とともに肉体的精神的な発達に欠かせないものとして位置付けられた。日本ではスポーツを個人の才覚に任せ、国や自治体が積極的な援助や環境整備を行わないものとした。だから働くものたちにはスポーツ要求があっても道具を買うお金がない、休暇が取れない、指導者がいないという現実に立ち向かえる力がなかった。これは今だに外国と比較すると日本の意識も環境も低い水準にある。日本人の多くは登山ができないのは自分の力がないためできないとあきらめてしまう。登山は個人的なものであり、社会性や人間的な成長とは無縁のものだと思込まされている。先のスポーツ憲章とは国民のスポーツ要求に対して国は責任をもって実現するための環境整備や支援をしなくてはならない、つまり国家と国民との権利関係を認めるものである。日本は先の冬期オリンピックでも指摘されたように国の施策や予算は先進国として、否、発展途上国より遅れている。こうしたことに黙っている私たちにも一旦の章任がある。

国民の登山要求の実現は人間の喜びや集団としての研鑽、向上と発展にこそ人類の将来があるとした理想の宣言であった。もちろん、登山がすべてで他のスポーツに価値がないとか文化や芸能は価値が低いというものではない。神奈川は1967年11月8日に湘南労山、横浜労山、川崎労山の三団体が県連盟を結成して今年で43年となった。県労山が対外的にその存在感を示した活動に1981年の鷹取山のクライミング禁止にともなう継続使用の運動、これにより制限付きとなったが

横須賀市との協議が成立して使用可能となった。次は1983年当時、中高年者登山ブームの走りとなった。神奈川では「みるく山の会」が誕生した。1984年は教育に力をいれ登山学校や公開の登山教室を開催した。1985年は川崎柴笛クラブと厚木岩つばめ山岳会の雪崩による7名の死亡となった。こうした過去の活動や運動、事故は連盟にとり前進の励みとなり、また逆に停滞や困難を抱えることとなった。

この5月には丹沢クリーンハイクを実施する。登山者の自然保護意識の改革、保全運動の取り組みは30年余の歴史を持ち多くの自然を守る活動の先駆けとなった。全国連盟が50周年を迎える今、私たちは何を得て、これからの歩みを決めようとするのか、自らが決めなくてはならない。1988年11月に県連盟30周年のまとめをした。それから13年の歳月を経た。私自身は山岳会が果たすべき社会的な役割と責任という報告の中で山岳会の在り方を示した。今日の登山者を取りまく環境や登山者自身にとり明るい兆しを感じられず、なぜか責任だけ重いように思う。となると、生きることが苦しくて辛いから、せめて登山ぐらいいは勝手にさせてよ。他人のことなどがまっけてられないよという叫びが一方から聞こえてくる。こうした現実に負けてしまった人たちがいるのは事実である。真面目な会員からは「先輩はかつて会のために一生懸命がんばったのに、今はわがまま勝手に会の約束も規律も守らない」と感じている。かと言ってそれを率直に意見できるほど覚悟もできない。面倒なこといやなことには目を瞑ってひたすら波風を受けないようにするという生き方を。登山が人間的な喜びや励ましを与えるものでなく、一人淋しく孤独な世界の逃げ場にさえなっている。こんなことはだれも望んではいない。心ある人たちはこうした問題に気付いている。だから悩んでいる。ただ悩んでいるだけでは問題の解決にはならないから一歩進めてみようと思う。だれもが気持ちを切り替えて、やれること、できることを探すことである。神奈川も7年後には50年を迎える。だからどうだということか。と言われればなにも7年後にと問題を先のばしにすることもない。組織の拡大と強化、教育の推進と事故防止、登山の普及と前進、山岳自然の保護と保全、世界の平和、生きる喜びと人間的成長、これらを今の時代にふさわしい活動に、運動に組み立てればいい。

(社)日本山岳協会・日本勤労者山岳連盟 創立50周年記念講演会

「UIAA登山者教育のスタンダードを学ぶ」

UIAA (国際山岳連盟) 登山委員 スティーブ・ロング氏

30年以上にわたり登山者教育に関わっているスティーブ・ロング氏は、英国登山リーダー教育機関の代表で、UIAA登山委員会の登山指導の標準化グループの代表を兼ねている。現役のトップクライマーに登山リーダー教育と英国登山事情について講演していただく！

東京講演会 5月30日(日) 14:00～ 早稲田大学国際会議場(井深大記念ホール)

入場券代 500円

申し込み・問い合わせ先 日本勤労者山岳連盟 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24
電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324

スティーブ・ロング氏の紹介

国立山岳センター上級指導員を13年間務めた後、連合王国山岳リーダートレーニング機構主任指導員に就任するとともに、国際山岳連盟登山委員会訓練標準化準備委員会座長に就任、今年で三年目になる。現在、連合王国山岳訓練専門委員会を統括し、登山指導員および国際登山リーダーの資格認定を行う。著書に『山歩き』、『クライマーのためのハンドブック』、DVD監修・制作に『クライマーのための自己救助』がある。1999年にイギリス山岳ガイド資格取得、1989年に登山指導員資格およびイギリスオリエンテーリング協会指導員資格を取得、屋外安全管理資格を2000年に、緊急救命救助者資格および指導員資格を1998年に取得。アウトドア教育と英語の専修課程修了。英語および哲学の複合学位を併せ持つ。

現在、アイスクライミングおよびミックスクライミングではグレードVIIをリード、登攀ルートはウェールズ、スコットランド、欧州、米国、マレーシア、タイ、オーストラリア、ニュージーランドなど広範囲に及ぶ。

主なルートにノルウェイのトロールウォール、ヨセミテのエル・キャピタン、パタゴニアのセルトーレ(コンプレッサールート)など多数。

日本勤労者山岳連盟 創立50周年記念レセプションのご案内

日も長くなり、登山を始め、野外活動には最適の季節となってきました。皆様には日々ご活躍のことと思います。

さて、私たち日本勤労者山岳連盟は、登山・ハイキングを健康で文化的な生活のひとつであり、平和で民主的な国民生活に根ざしたスポーツ・レクリエーションとして、普及し発展させることを目的として活動し、本年度で50周年を迎えました。

これは、多くの方々にご支援とご協力をいただいたおかげと深く感謝申し上げます。

できれば今後の飛躍と登山文化発展のために、節目の年をご一緒に祝いたいと思います。ぜひ、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

2010年4月3日

日本勤労者山岳連盟 会長 西本武志

日時 2010年5月30日(日) 受付開始 午後5時 開会 午後6時
会場 リーガロイヤルホテル東京 ロイヤルホール
〒169-8613 東京都新宿区戸塚町 1-104-19
電話 03-5285-1121 (地下鉄東西線早稲田駅3a出口より7分)
会費 7000円

申し込み・問い合わせ先 (全国連盟事務局まで事前にお申込み下さい)

日本勤労者山岳連盟 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324

ナマステ(こんにちは)メールニュース 2010年3月27日(土曜日)臨時号より転載

2010年原水爆禁止国民平和進行に参加しましょう

1、草の根から核兵器廃絶の大きなうねりを

ことしの行進は、NPT再検討会議を「核兵器のない世界」への歴史的な転換点とするために、世界中の運動が5月2日のニューヨーク行動に結集するのをはじめ、NPT再検討会議の期間(5/3~5/28)、核兵器廃絶を求めて世界各地で多様な行動がとりくまれる中での行進となります。2010年原水爆禁止国民平和進行は、こうした世界の運動に合流し、草の根から核兵器廃絶の大きなうねりをつくる、従来の枠を大きくこえた行進として成功させます。

また、日本の進路にかかわる核密約、普天間基地など非核・平和の問題が国政の大きな焦点となるもとでとりくまれることから、非核平和の日本の実現を広くアピールする行進としてとりくみます。

2、日程・コース

5月6日(木)東京・夢の島、7日(金)和歌山、9日(日)北海道・礼文島、四国・高知の出発を皮切りにスタートします。

終結日は、東京=7月29日、広島=8月4日(水)。コースは、これまでと同じ全国11幹線コース〔北海道 東京(4コース)、東京 広島、富山 広島、和歌山 広島、四国 広島、長崎 広島、宮崎 広島、沖縄 広島〕で実施します。

全自治体を網羅する網の目平和進行をめざします。

3、主催

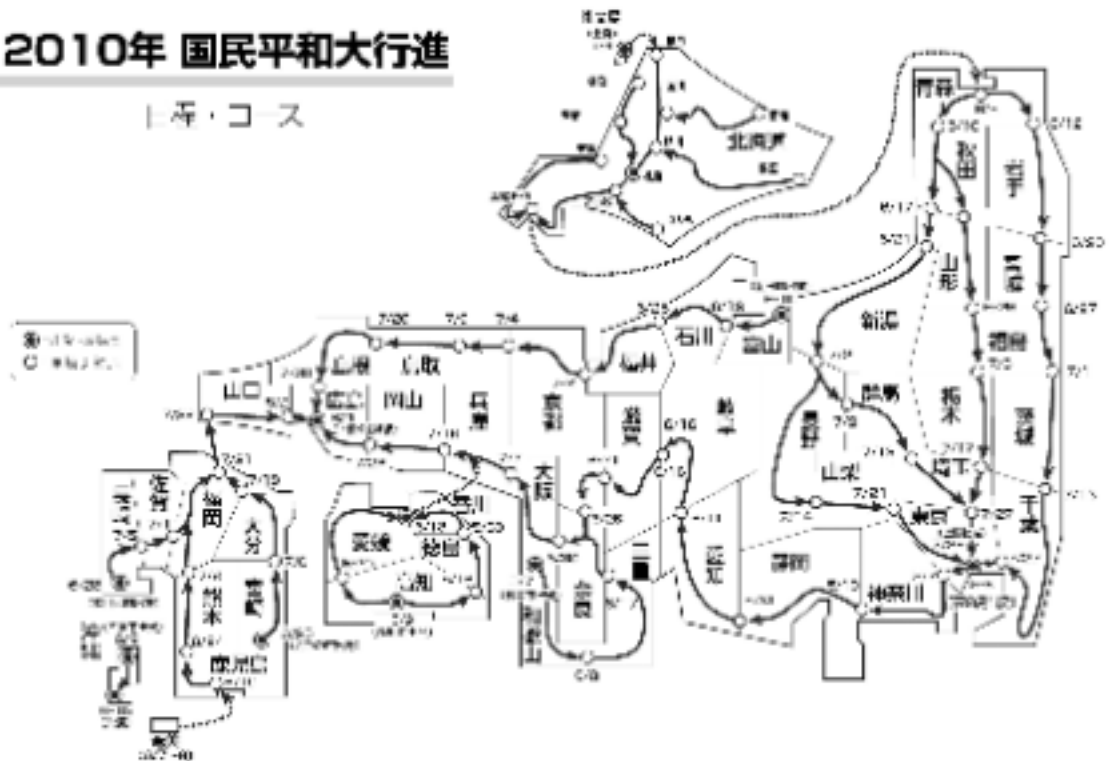
提唱 = 原水爆禁止世界大会実行委員会

主催 = 2010年原水爆禁止国民平和進行中央実行委員会

(2010年原水爆禁止国民平和進行実施要項より転載)

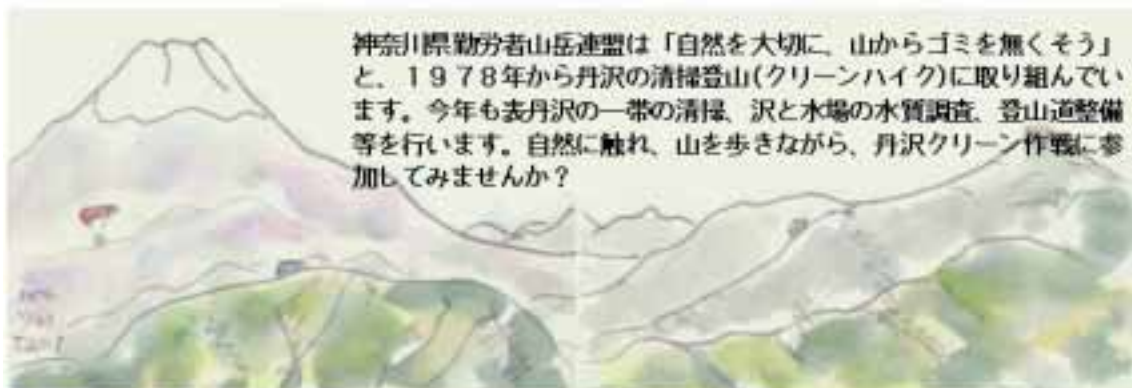
2010年 国民平和進行

11幹線コース



第33回 丹沢を楽しく歩いて、ボランティア

2010丹沢クリーンハイク 5月30日(日)



神奈川県勤労者山岳連盟は「自然を大切に、山からゴミを無くそう」と、1978年から丹沢の清掃登山(クリーンハイク)に取り組んでいます。今年も表丹沢の一带の清掃、沢と水場の水質調査、登山道整備等を行います。自然に触れ、山を歩きながら、丹沢クリーン作戦に参加してみませんか？

集合場所・時間

希望コースにより、集合場所・時間が異なります。

(裏面のコースを確認して下さい。)

①大倉バス停ビジターセンター前	8:00受付開始	8:30開会式
②ヤビツ峠バス停	8:30受付開始	9:00開会式
③伊勢原駅北口	8:00受付開始	暫時出発

持ち物・服装

軍手、ゴミ袋は支給します。お弁当、水筒(飲料) 雨具、リュック、ハイキングシューズ等

雨天時の対応

- ・前日(5月29日) 18:53のNHKニュース気象情報(神奈川県西部)の降水確率が50%以上の場合、林道以外のコースは取りやめ、一般参加者の参加は中止します。
- ・労山会員は林道の調査、清掃を予定しておりますが、参加の可否は各会の判断に任せます。

問合せ先

- ・問い合わせはメッセージプラス(留守電とFAX)とメールで対応いたします。(メッセージプラス)050-3488-3765 (メール)cleanhike2010@k-rouzan.net
- ・前日のキャンセル、天候不良時に実施かどうか微妙な時等は、下記まで連絡、確認をお願いします。クリーンハイク事務局 三上 045-891-6496

[後援] 神奈川県/丹沢大山クリーンピア21

[協賛] 丹沢自然保護協会/丹沢ブナ党/丹沢ドン会
丹沢ゴミ調査会/泰野の自然と環境を守る連絡会
伊勢原の自然と環境を守る連絡会
尾瀬の自然を守る山ゆりの会
相模川キャンピングシンポジウム
クリーンタフ(神奈川県自然観察指導員連絡会)
神奈川の自然と環境を守る連絡会(神奈川グリーンネット)
神奈川大学ワンダーフォーゲル部/NPOみろく山の会



主催：神奈川県勤労者山岳連盟



コース一覧

集合場所・時間	コース	清掃場所	ゴミ集積所	歩行時間 目安	体力
大倉 8:30	A 大倉高原	大倉～大倉高原～堀山の家	大倉	約4時間	一般向け
	B 大倉尾根(花立)	堀山の家～花立山荘	大倉	約5時間	一般向け
	C 大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘～塔ノ岳	大倉	約6時間	健脚向け
	D 丹沢山	塔ノ岳～丹沢山	大倉	約8時間	前夜戸沢泊突
	E 鍋割山	二俣～後沢乗越～鍋割山	大倉	約6時間	健脚向け
	F 新大日	戸沢出合～新大日	戸沢出合	約5時間	健脚向け
	G 戸沢林道	大倉～戸沢出合	戸沢出合	約4時間	一般向け
	H 西山林道	大倉～二俣	大倉	約4時間	一般向け
ヤビツ峠 9:00	I 表尾根ニノ塔	ヤビツ峠～ニノ塔～ヤビツ峠	ヤビツ峠	約4時間	一般向け
	J 表尾根三ノ塔	ニノ塔～三ノ塔～大倉	大倉	約4時間	一般向け
	K 岳ノ台	ヤビツ峠～岳ノ台	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	L イタツミ尾根	ヤビツ峠～大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
伊勢原駅北口 8:30	M 大山下社	下社～大山～ヤビツ峠	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	N 大山日向薬師	日向薬師～見晴台～大山～ヤビツ峠	ヤビツ峠	約5時間	健脚向け
	O 不動尻	大山～不動尻～広沢寺温泉			会員向け

申込先・方法

(郵 送) 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3F
神奈川県勤労者山岳連盟 クリーンハイク実行委員会宛

(メッセージプラス) 050-3488-3765

(メール) cleanhike2010@k-rouzan.net 申込み締切 5月21日(金)まで

(切り取り)

2010年丹沢クリーンハイク・参加申込書

(参加者1人につき申込書1枚です。)

カかけ	性別	生年月日(西暦)・年令	希望 コース
氏名	男・女	年 月 日 (才)	
住所	〒		所属団体 (あれば)
	連絡先電話: メールアドレス:		

※ご記入いただいた個人情報は保険加入時、報告書、ご案内の送付のみに使います。

リーダー学校初級 一年間の感想

萩原富佐子（相模アルパインクラブ）

あっと言う間の一年間でした。三月の卒業式では皆勤賞まで頂きました。

自分の年齢、体力を考え、できるところまでと考え入校したのですが・・・

光沢寺の岩トレから始まり、読図山行、沢では安全重視してロープを出してくれたので安心して通過できました。

三つ峠のマルチピッチでは終了点に着き、有頂天になり、セルフをとり忘れてたり。ダブルロープを交差させたり、反省点が多々ありましたが、これらを財産と考え二度と同じ過ちを繰り返さぬよう、これからの山行の糧として頑張りたいと思います。

赤岳では素晴らしい雪景色が見られ、初めての雪洞ほりでは夢中になり後遺症に悩まされましたがよい体験、思い出が沢山できました。

卒業山行の八海山は、悪天候のため頂上は踏めませんでしたでしたが、講師の方々含め参加者全員の意を踏まえての撤退という貴重な体験をしました。

いつも学校では自分の年齢を忘れさせてくれます。おもいきり楽しめました。

思えば、ずっと地元の山のサークルで井の中のかわずだった私が、岩に興味を持ち相模アルパインクラブに入り視野が広がりました。リーダー学校を知り、新しい仲間ができ、横のつながりが更に広がりました。講師の方々は何論メンバーからも沢山の事を学び、有意義の一年でした。このまま終わるのはあまりにも寂しく、また、読図、気象マルチのロープワーク他まだまだ習熟が必要ですのでもう一年中級で学ぼうと思っています。



リーダー学校中級 一年間の感想

神野雅幸（小田原ナーゲル山の会）

昨年度受講した初級も含め、焦りと不安の中でこの2年があっという間に過ぎてしまった。初級で入校した当時は一般縦走のリーダーを目指していた。思い返せばその頃の自分の中の山のジャンルに、アルパインという言葉がなかった。いまでは部屋の一

角を専有する多量の登攀用ギアにも、全く興味がなかった。そんな目標も、岩・沢・雪山などの机上や実技を経る度に新しい分野が開けて、縦走からアルパインにしらずのうちに摩り替ってしまった。



しかし、パートナーのいない自分には実際どうすればよいのかも分らず、困難なルートを目指さなければとの焦りが多分にあった。焦ってルートに臨む反面、果たして自分に登れるのかとの不安も大きくなっていったが、リーダー学校や仲間との山行を重ねる度に、いろいろな視点からの話をし、安全に対する考え方を聞くことができたお陰で、山やルートやステップアップに対する考え方も変わって、無用の焦りがなくなってきたと思う。講習の中で山の技術はもちろんだが、取り組む気持ちといったソフトな部分でも有効に学べたと思う。

卒業式の打ち上げで、「1月の赤岳主稜の時は、だいぶマシに見えたぞ」と入木田校長に言われた。その言葉の意味を自分でも理解できるようになってきたからこそ、入木田さんの言葉がすごく嬉しかった。これもリーダー学校で知り合った仲間や講師の援助があったからこそで、2年間の実技・机上だけでは今の自分にはなれなかったと思う。

また、計画書・ルートファインディング、リーダーシップ、パーティースhipなど、登攀技術以外にも総合的な多くの事を身に付けることができたと思う。中級実技の赤岳主稜や天狗尾根に向けて、講習以外で山行を組んでステップアップの手助けを頂いた飯塚さん、三瓶さん、実技でお世話になった入木田さんを始めとする講師の方々、同じく中級の大澤さん、リーダー学校に携わる皆さんに感謝しています。

今後も無事下山する事を最優先に、山に対する謙虚さも忘れずにさらにステップアップしてゆきたいと思っています。ありがとうございました。



卒業山行を終えて

教育部長 後藤真一

神奈川県勤労者山岳連盟リーダー学校も一年間の集大成、卒業山行の時期となった。一年間同じ釜の飯を共にしてきた受講者が主体となって山行計画を立てる。初級が選んだ山は越後の八海山。3班編成で、それぞれの班の互選で選ばれたリーダー中心に行程計画、装備計画、食料計画、危険要素の洗い出しとその対応など山行1ヶ月前あたりからミーティングやメールでの微調整など全員が参画してひとつの山行を創っていく。これがこの学校の特徴であり（本来の山行のあり方）、目的である。単なる知識や技術の習得だけではなく登山本来のあり方であるメンバーシップ、そして登山リーダーシップの取り方を年齢を越えて実践し、その難しさと喜びを体感する。今年もほぼその目的は遂げられたと感じた。

天気予報では大荒れ。

学校の目的からするとメンバーシップとリーダーシップを試されるよい機会。

「大荒れだから最初から中止しよう」というメンバーもいれば「現地へ行って判断しよう」

「悪天とはどういう状態なのか怖いけれど体験してみたい」

「行けるところまで行きたい」

「なんとか行けるんじゃないか」

おそらく口には出さないが、個々の想いはさまざま。

これらをどのように表に出し、皆の意見を出し合

いパーティとしての総意をどうまとめていくか。

リーダーの力の難しいところでもあるが自然相手の登山には絶対必要な要素でもある。

山麓駅で全体ミーティング。

個々の意見と危険要素を鑑み「土曜中に下山」「折り返し時刻は正午または折り返し地点は池ノ峰まで」と総意が決まる。

稜線に出ても無風快晴で暖かい。

（本当にこの陽気が崩れるの？大丈夫なんじゃない）

そんな気持ちも当然出てくる。

しかし池ノ峰の先、女人堂避難小屋に上がる途中には場合によってロープを出す急な登りもあるしそうなれば当然時間もかかってくる。

降りる場合はもっと時間がかかる。

ここで突っ込んでいれば悪天に？まる可能性も十分ある。

ロシアンルーレットで遭難した事故は今年に入ってからあったばかりじゃないか。

それらを教訓にしてこそ遭難防止。

こんなときこそ「山は逃げない」という言葉を使ってもよい。

それに途中敗退した山ほど後々想いは強くなるものだ。

山頂に行くことは叶わなかったがリーダー学校の目的は達せられた。

そんな卒業山行だった。



第3回「2010丹沢クリーンハイク」実行委員会報告

日時 2010.3.29(月)19時~21時

出席者 高橋,萩原(藤沢山の会) 関根,伊藤(横浜HC) 鈴木,岩佐,大用(川崎HC) 千葉(みずなら山の会) 磯部(地平線) 三上,石川,渡辺(こぶし) 永井(カモの会) 黒井(雪童) 森谷(小田原ナーゲル) 早坂(山ブキの会) 渡辺(相模AC) 遅澤(川崎労山) 北野(緑星) 大日方(AC横浜)

報告事項 14の会20名が集まり活発に話し合いがされました。

* 実行委員会推進状況

「2010丹沢クリーンハイク協賛のお願い」

- * 他団体(丹沢自然保護協会、他13団体)メールにて拝信済み
- * 県知事からの承認文書(3月16日付)受領
- * 3月28日神奈川県自然環境保全センターにて「登山道整備」の打ち合わせ
- * 登山道整備は人気があり今期は増員を見込み50名位希望したが、県側の都合もあり作業人員は30人位とし、整備場所は後日県側で候補をあげ調整後決める

5月29日の丹沢水質調査

- * 6コース中5コースは担当会が決まる。名水コースのみ決まらず、引き続き募集中

5月29日前夜祭

- * 29日3時頃よりチェックイン 夜、歌声予定 一泊3500円食べ放題、飲み物自前

討議事項

- * クリーンハイクピラ(1000枚 色薄黄緑)4月の事務局長会議にまで仕上げる
- * 各会に渡す他に、行政300枚 カモシカ50枚 コージツ(藤沢 横浜)各50枚
- * クリーンハイクコース・登山道整備 申し込み一覧(3/29現在)

	コース名	清掃場所	担当会
A	大倉高原	大倉~大倉高原~堀山の家	藤沢山の会
B	大倉尾根(花立)	堀山の家~花立山荘	横浜HC
C	大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘~塔ノ岳	カモの会
D	丹沢山	塔ノ岳~丹沢山	地平線
E	鍋割山	二股~後沢乗越~鍋割山	小田原ナーゲル
L	イタツミ尾根	ヤビツ峠~大山	川崎HC
M	大山下社	下社~大山~ヤビツ峠	川崎HC
O	不動尻	コース検討中	雪童 川崎HC
	登山道整備	コース調整中	相模AC

* 不動尻コースについては、新設コースでもあり、ゴミの収集場所等について検討の為4月11日下見山行に行きます。 参加申し込みは大用まで

* 次回クリーンハイク実行委員会4月26日県民サポートセンターPM7時~

以上. 記録(大用)

2010丹沢クリーンハイクのチラシが県連のホームページに掲載されました。ご参照下さい。

(編集部)

2010年3月事務局長会議の報告

2010.3.14 事務局長代行 中山建生

出席者 藤沢山の会・川崎労山・横浜HC・やま
++・柴笛・小田原・

理事は蝦名(財政)、三上(機関誌)、小林(ハイ
キング)、小野寺(事務)、中山(副会長)

3月9日(火)午後7時15分から9時 県連
盟事務局にて表記の会議を開催しました。

この会議は総会前となったため、県連盟から
は議案に関する趣旨説明を予定したが、連盟から
の総会に向けてのお願い事項、代議員の選出、
理事立候補者について事務上の確認、議案書の
送付などに止まった。欠席した会の点検は後日、
事務局の扱いとした。

県連盟からは財政情況、機関誌から3月号(当
日製本)他を各会の持ち帰りとした。

当日の討議テーマとなったのは「登山計画書
の提出先」に関連して質疑があり、報告とした。

(1)登山計画書はどこへ出すのか。登山口のポ
ストと回答した所があり、現在ポストの管理
がきちっとしていないところがあるため、所
轄の警察(生活安全課)または県警本部へファ
クシミリによる送付が最善であることを報告
した。別紙内容を参照のこと。

(2)会員の友達が参加する場合、個人情報を出
せないという要求があることに対して、登山
計画書の目的は登山の内容、目的、分担など
それぞれが確認して準備を怠らないことと緊
急時に関係者が速やかに連絡をとり、事故の
場合には警察が確認をもとめるための資料と
なることを理解してきちっと作成すること。

(3)インドアクライミングに関して計画書を必
要とするのかどうかという質問に、前記のと
おり計画する内容が確認点検されるためには
文書による提出が欠かせない。現実には口頭
による連絡で由とする会もある。どの範囲ま
でというのがいつも問題とされる。基金の給
付条件と会が山行管理をする目的を混同させ
、登山者としての自覚をあいまいにしている。
客観的にみれば一般のスキー場内での事故を
山スキーの訓練と称して給付申請がなされ、
登山計画書の記載を確かめると山スキーの訓
練とは到底評価できない事例があった。

(4)海外登山の計画書に関しては現地の打ち合
せが済まないと確定しない場合には分かって

いる範囲で記載、提出とする。決まりしだい
補充することとした。基金の給付条件として
全国は計画書の事前提出を求める。県連盟は
緊急時に対処する場合があるため県に計画書
の提出を義務付けている。県連盟は登山の内
容について点検、緊急連絡など確認する場合
があるため。

(5)所属する会が計画内容を把握して安全管理
と指導をする旨を事務局長会議で確認してい
る。複数会の会員が一緒に行なう山行につ
いてはそれぞれの会が行なうこととしている。
目下の所他の会とのトラブルの発生は聞いて
いない。前記(3)とも関連した便宜的な使い分
けを横行させ、基金の趣旨を歪める主張をし
、計画書の提出不要とする争いとなった事例が
ある。

(6)連盟が主催する登山ないしは行事(登山が
含まれる場合)に関しては連盟の山行規定が通
用され、山行管理者は理事長、副理事長、事
務局長としている。ハイキング委員会に関し
ては中山が山行管理者となり計画内容、講師、
日程などを把握し、安全実施を点検する。前
記の者が不都合な時はこれを代行するものを
常任理事会で決める。登山計画書を出さず
に事故を発生させると現地の警察など救助に
関わった組織からは厳重に注意される。この
ことで責任をあいまいにしたり、謝罪をせず
に横柄な態度をとると、現地との関係を悪く
させ他々の登山者にまで迷惑をかける。会
は会員に登山の実施にともなう計画書の提出
、万一の場合の救助要請、関係者へのあいさ
つ、迷惑を掛けた旨の謝罪など社会的にみて
相当な行為がとれるよう会員に教育を進めら
れるよう改めて伝えます。



登山計画書の記載と提出、現地との対応に使われる時

2010.3.10 副会長 中山 建生

3月9日、連盟事務局長会議で「登山計画書」に関して質疑と意見交換があったので、その内容と連盟の考え方と今日までの取り扱いを報告する。警察、救助隊との関係も必要な範囲で記載することとした。

(1)登山計画書の作成と登山内容 = 原則計画書の作成と提出

参加した会では室内クライミングについては書類による計画書の提出は免除。口頭による通知と了解を得る。この場合、参加者、目的を明確にして、管理者はメモを残すこと。

計画書作成義務の範囲、登山内容と提出は会できちっと決めて誤解のないようにする。

トレーニングと称して勝手な解釈が生まれ、計画書の作成提出を不要とする主張がある。

(2)提出先 会の山行管理者および所轄の警察署の生活安全課（または県警本部）

登山口のポストに投函していると回答した会がある。現在回収、保管が確実でないためポストの投函は止めるよう話した。夏山登山相談所には用意した計画書の提出でよい。

警察は稜線、コースが複数の県に跨るときはそれぞれに提出することを求めている。

県警はファックスで送付としている。山行管理者の携帯番号は必要。移動中にも連絡打ち合せと確認が求められる（事故一報をし、捜索の打ち合せ）。

(3)個人情報から住所などの記載を拒む人に対して

登山計画書の趣旨は相互に連絡、点検をし、緊急時の捜索活動の資料とするため、氏名、住所、緊急連絡先、性別、生年月日、血液型、保険加入の有無などを警察、消防、医院などから確認を求められる。会は計画書の趣旨、目的をメンバーに理解させる。必要な情報は適切に管理され、緊急時には要請に答えられるよう準備をしておく（計画書の所持）。

医療機関に收容される場合、既往症、掛り付け医師、投薬の種類、家族への直接連絡などの詳細を求められる。緊急手術の合意は家族しか対応できない。会員の個人情報カードを作成して、会員に保持させ、万一の場合に対処することが望ましい。

(4)現地の遭難対策協議会へ救助要請、民間へり要請の場合に費用負担をだれがするのか確認を求められる。会の代表者またはこれに対応する者が依頼を回答する。支払いの保証。

諏訪の場合、ひとりの日当3万円以上 危険手当で2万円以上 実費と保険は別請求
へりは機種により金額が異なるが概ね80万円から150万円 国土交通省にて基準額)

地方により日当の金額は異なるし、スキー場の雪崩捜索救助は危険手当を含めて10万円以上を請求する所もある。善意で協力してくれる所でこじれると後に登山者のゴンドラ利用など断られた事例もある。神奈川でも現地とこじれた例はある。

(5)事故の場合、メンバーの経験、技量、装備、燃料、食料などを問われることがある。

捜索活動ができず装備の投下などをする場合に検討される。

(6)現地の通信活動が十分でないときは、無線資格者を適時配置することが望ましい。資格者の登録をしておくといよい。

(7)計画書の記載があいまいであったり、必要な記載がないと後々内部で問題とされたり、関係者の会議で報告例とされる場合がある。

(8)現地に向かう責任者は警察などの通信連絡を、副責任者は会員、家族に連絡をするよう役割を区分、携帯電話の複数使用。その他は留守本部で通信対応。

2010年4月常任理事会

4月5日(月) 19:30~21:50

総会(3月14日に実施済み)

決議事項に関して

総会での決議内容を、参加していない会に

周知することが必要。

特に理事派遣の義務化に関しては、守っている会とそうでない会との間で不公平感が生じてしまう。

待っていてもだめなので会と連絡をとるとともに、場合によっては例会や総会に出向くようにすることが必要。

- > とりあえず連絡を取り、総会の決議を伝え、理事の派遣を依頼する。4月末までに回答のなかった会に対しては、説明に出向くことを検討する。

規約・規定の改定に関して

現実にそぐわないものの改訂を進める。次の理事会で改定案を出し、来年、改訂できるようにする。

全国と地方の規約で、内容がそぐわないものがある（地方独自の活動や、全国の役割だが地方に委託されている活動など）。これらの見直しも必要。

その他

各会からは出席者のリストを提出してもらっていたが、受付用名簿として作り直していなかったため、受付作業に支障を来した。

各部報告

自然保護委員会

クリーンハイキング実行委員会を3月29日に実施。協賛、その他の準備はOK。

人気のある登山道整備は参加人数の増大を行政に依頼してきたが、30名までとの返答あり。

5月29日（前日）は前夜祭を見晴らし茶屋で行う。宿泊費（食事付き）3,500円。飲み物は各自で持ち込む。

ピラ1000枚を印刷（電話番号に誤りがあり、手書きにて修正）。関係先に配布する。新たに、不動尻コースを設定。ゴミが大量にある。下見は4月11日（日）に行く。コースや、集積場所（厚木市になる可能性あり）の検討が必要。

救助隊

4月11日（日）に救助隊総会を行う。10名が参加予定。

年間計画に関しては、総会で決めた後に県連の計画表に加える。

教育部

4月4日（日）に新期リーダー学校の説明会を実施。

初級18名（うち一般は7名）、中級8名の申し込みあり。最終的な参加の判断は11日まで。

最初の講習は、4月18日（日）広沢寺

先期のリーダー学校に関しては3月20～22日の期間で卒業山行を実施。初級、中級それぞれにおいて、悪天を避けて入・下山した。

関東ブロックの取り組み（講師のシェア）と連動して、部員の技術の棚卸しを行う。

ハイキング委員会

ハイキングリーダー学校の雪トレを3月20・21日に実施。

4月1日に入校式を実施。今期は7名が参加。

遭難対策部

教育部と連動して、講師のシェアに必要な活動を行う。

講習の年間計画を作成する。

事務局 財政

総会での要望を受け、予算書と決算書を修正したものを連盟ニュースに掲載する。

連盟ニュース

4月号巻頭言 中山新会長

今月の締め切りは9日（金）

新理事の紹介記事を検討中

事務局長会議

新事務局長は6月に決めるものとし、それまでは常任理事が担当する。

4月13日（火） 田村

5月11日（火） 海輪

6月 8日（火） 中山

その他

総会議事録は、要求があったときに見せられるようにしておく。

総会議事録をまとめたものを、各会に2部配布する。

県連のホームページに掲載する連盟ニュースは、決算・予算の内容を削除したものにす。

新理事の名簿を作成する。

白嶺岳和会、こだまの会が解散（脱会の通知は受領済み）。全国にも連絡する。

6月5日（土）スポーツ連盟総会。理事2名の選出、代議員5名程度の選出が必要。次回の常任理事会にて検討する。

常任理事会日程

次回 4月27日(火)

次々回 5月31日(月)

全国理事会報告・検討

5月30日(日)(クリーンハイキングと

同日)に、50周年記念講演とレセプションが行われる。

それぞれのパンフレットを各会に配布する。

また県連役員からの参加者、参加費用の補助等を検討する。

記録 副理事長 田村和寿

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告:小池 秀子 計41名(男26 女15)平均 歳

2/27-28 谷川岳(県連雪上訓練)(3)	3/13 南房総・伊予ヶ岳(3)	3/20-22 五竜岳(2)
2/27-28 上越タカマガキ(県リーダー学校)(1)	3/13-14 安達太良山スキー(4)	3/20-22 上越・八海山(県リーダー学校)(1)
2/28 湯河原・幕岩(1+2)	3/14 湯河原・幕岩(2+1)	3/21 鷹取山・岩トレ(10)
3/13 丹沢(2)	3/20-22 上越・小出俣山~阿能川岳(1+3)	3/22 湯河原・幕岩(2)

川崎ハイキングクラブ

報告:川上勝夫 計102名(男51 女51) 平均62歳

2/17 笹尾根/奥多摩(5)	3/13-14 湯の丸山/八ヶ岳(9)	4/20 三頭山/奥多摩
2/20-21 雲取山/奥多摩(8)	3/13-14 蛭ヶ岳/丹沢(3)	4/25 セルフレスキュー
2/20-21 八子ヶ峰、北横岳/八ヶ岳(13)	3/14 秩父三十四ヶ寺巡り/秩父(8)	5/9 高水三山/奥多摩
2/21 三浦アルプス/三浦半島(13)	4/4 伊勢原・弘法山	5/16 笹子雁ヶ腹摺山/中央線沿線
2/23 扇山/中央線沿線(1)	4/9-11 谷川岳	5/15-16 塩原自然研究路/那須
2/25 世田谷中央部散策/世田谷(6)	4/17 浜石岳/静岡	5/18-19 北八ヶ岳
2/28 秩父七峰/外秩父(2)	4/18 陣場山/中央線沿線	5/30 丹沢クリーンハイク
3/6-7 畦ヶ丸-菰釣山/西丹沢(8)	4/18 鍋割山/丹沢	6/12-14 二王子岳/新潟
3/12 小野子山/群馬・渋川(1)	4/18 念仏山~高取山	6/19 丹沢懸垂岩
		6/20 岩トレ・ロープワーク/丹沢

川崎柴笛クラブ

報告:雪竹雅士 計32名(男19 女13)平均48歳

3/3 大倉尾根(1)	3/17 唐沢幕岩左方ルンゼ(1+1)	3/20 西穂高岳(8)	3/26 御嶽山~燕山~男体山~女体山(1)
3/14 大山(3+3)	3/13 鷹ノ巣山(3)	3/20 蓑毛 大倉尾根(1)	3/27 大山(1+1)
3/14 城山(3+5)	3/14 大倉尾根(1)	3/21 阿弥陀岳北稜&赤岳主稜(1+1)	3/27 幕岩(1+1)
3/13 丹沢山(1+2)	3/13 菅平(1+6)	3/21 八幡平(1+4)	3/27 大倉尾根(1)
3/11 鷹ノ巣山(1+1)	3/15 東海谷(1+2)	3/26 幕岩(1+1)	日付は下山日です。
3/13 表尾根(1)			

アルパインクラブ横浜

報告=岸 直哉 計38名(男23:女15)平均 歳

3/8 日和田(1+1)	3/14 谷川岳東尾根(1+1)	3/21-22 上高地・中千丈沢(1+3)	3/28 谷川岳西黒尾根(2)
3/12 鍋割山(1)	3/14 元清澄山(1+30)	3/20-22 尾瀬ヶ原周辺(3)	3/28 三ツ峠(4)
3/13 湯河原幕岩(1+3)	3/22 塔が岳(2)	3/22 越沢バットレス(3)	3/28 神楽峰(3)
3/13-14 乗鞍岳(3)	3/20-22 佐渡山南面(2)		3/28 大杉山(2)

横浜ハイキングクラブ

報告=池上準子 計59名(男22:女37)平均62歳

3/6 富士見パノラマリゾート入笠(9)	3/11 室内例会(44)	4/29 浅間尾根	5/16 鎌倉(朝比奈切通し~釈迦堂門)
3/7 幕山・湯河原~幕山~南郷台(7)	4/3 ミツバ岳	5/1 尾白川溪谷	5/23 檜洞丸
3/16 カタクリ・城山湖~津久井 湖	4/4 金沢文庫~鎌倉	5/7夜-9 佐渡(交流ハイク)	5/23 障害者ハイク
3/28 西御荷鉾山~東御荷鉾山(バス)	4/8 室内例会	5/9 九鬼山	5/27 箱根 神山
	4/11 甲州高尾山	5/13 室内例会	5/30 丹沢クリーンハイク
	4/18 生藤山~陣馬山	5/15-16 畦ヶ丸~加入道山~檜洞	
	4/24 高尾山		
	4/25 武川岳		

横浜こぶしの会

報告=田辺美由紀 計27名(男18人 女9人) 平均52歳

3/7 大野山 (中止)	4/8 室内例会(10)
3/27 三頭山(5)	4/18 松田山(鍋山行)

藤沢山の会

報告=中河原昭夫

計94名(男46:女48)平均64歳

3/3 運営委員会	3/20 大楠山・畠山(8)	3/30 奥多摩・馬頭刈山	ハク13)
3/6 沼津アルプス(会ハイク12名)	3/22 白毛門(4)	(3)	4/10 箱根・星ヶ山(5)
3/9 機関誌「稜線」印刷	3/27 丹沢・ミツバ岳(3)	3/31 創立30周年実行委員会	4/17 湘南・森戸川源流(天ぶら山行)
3/10 室内例会(44)	3/27 丹沢・屏風岩(13)	4/3 山梨・京戸山、達沢山(会ハイク 19)	4/18 第29回定期総会(出席予定者68)
3/13 新人歓迎山行:湯河原・幕山-南郷山(48)	3/27-28 東北・蔵王(4)	4/3 上越・谷川岳(4)	4/24 奥多摩・坪山
3/15 入会説明会(1)	3/28 本社ヶ丸(会ハイク)(8)	4/4-5 新潟・弥彦山、角田山(3)	4/24 箱根・神山(自然保護部・花の観察会)
3/19-20 安達太良山(5)	3/28-29 新潟・弥彦山、角田山(10)	4/10 浜石岳・薩田峠(会	
3/20 山梨・兜山(4)	3/29 臨時運営委員会		

小田原ナーゲル山の会

報告=中島健一

計30名(男19:女11)平均 歳

3/6 三峰山(1)自然保護委観察会	3/21-22 八つ・赤岳天狗尾根(4)	4/5 高松山テンブラ山行(5)
3/6-7 八つ・石尊稜(2)	3/22 守屋山(2)	4/8 屏風岩山~ミツバ岳(2)
3/11-22 海外・ドロミテ山スキー(2)	3/27 谷川・一の倉沢山スキー(6)	予定
3/13-14 八つ・小同心クラック(2)	3/28 三つ峠岩トレ(3)	4/4 ナーゲル山の会総会
3/14 丹沢・木の又小屋(2)	3/28 定例山行・明星ヶ岳(9)	4/22 運営委員会
	4/3 丹沢・木の又小屋(1)	

相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計38名(男27:女11)平均53歳

2/26 幕岩(3)	3/6-7 西吾妻山(3)	3/14 鷲頭山(2)	3/22 鍋割山(1)
2/26-28 土合山の家周辺深雪搬出訓練(1)	3/7 広沢寺 清掃集会(10)	3/18 幕岩(3)	3/22 広沢寺(1)
2/27-28 タカマタギ(4)	3/7 六甲山(1)	3/20 城山(5)	3/19-23 横岳西面(1)
2/27-28 横岳 日ノ岳稜(2)	3/11 幕岩(1)	3/19-21 八海山(2)	3/20-23 宮崎比叡山(1)
3/3 幕岩(3)	3/12-14 権現岳 東稜(1)	3/21-22 赤岳 天狗尾根(1)	3/28 ファーストエイド講習
	3/13-14 城ヶ崎(4)	3/22 幕岩(2)	
	3/14 大山(1)		

みすなら山の会

報告:阿部ひろみ

計32名(男22 女10) 平均 歳

3/12-14 吾妻連峰 天元台-大沢下り 山スキ(5)	3/19-20 守門岳山スキ(-2)	3/22 大倉-塔トニグ(1)	4/4 西丹沢自然教室-蛭ヶ岳-塔-大倉(2)
3/13 大倉-塔-三の塔-ヤビツ峠トニグ(1)	3/19-20 八海山リーダー学校(1)	3/22 生藤山(3)	4/4 湯河原幕岩(1+2)
3/13 宮が瀬ダム-塔-大倉トレーニング(3)	3/20 徳並山(5)	3/27 大菩薩峠(1)	4/8 宮が瀬-塔-大倉トレーニング(2)
3/14 三つ峠アケトトレ(2)	3/20 大倉-塔-三の塔-ヤビツ峠トレーニング(1)	3/27 鷹取岩トレ(1+1)	4/10 広沢寺岩トレ(4)
3/14 大倉-丹沢山トレーニング(1)	3/21-22 八ヶ岳大同心雲稜ルート(1+1)	3/27-28 石尊稜(4)	4/10 伊豆城が崎 フナムシロック(1+1)
3/14 伊豆城が崎 フナムシロック(1+1)	3/22 鷹取岩トレ(2)	3/27-28 八ヶ岳 赤岳(4)	4/21 火打山山スキー
	3/22 大倉-塔-三の塔-ヤビツ峠トニグ(1)	4/3 鷹取岩ト お花見(10)	4/29-5/2 立山山スキ(3)
		4/3 二子山-鷹取山 お花見(6)	4/29-5/3 八甲田山スキ(5)
		4/3-4 焼山北面台地 山スキー(3)	

カモの会

報告:森谷準一

計66名(男44:女22)

平均36.2歳

3/8 カヤノキダナ山稜(1+1)	3/20 八海山 L学校(5+9)	3/27 谷川岳 西黒尾根(3)
3/13 大菩薩嶺(1+1)	3/20 湯河原幕岩・城山(1+2)	
3/13 丹沢・塔の岳歩荷トレ(1)	3/20 至仏山(2+8)	その他、個人山行記録多数あります。
3/13 東天狗岳(3)	3/20 角田山(1)	ヤマレコでご確認下さい。
3/13 伊豆ノ海金剛(1+1)	3/27 高妻山(4)	http://www.yamareco.com/
3/13 戸隠・黒姫山、飯縄山(1+20)	3/27 八ヶ岳ノ旭岳東稜(2)	

やま+

報告:柴田勇作

計11+3名(男11:女3)平均50歳

3/6-7 雪崩講習会・北八・五泉水(2)	3/22 丹沢・大室山(2)	4/11大菩薩・ハマイバ丸
3/10 例会(8+2)	3/24 例会(9+2)	4/14 例会
3/13 読図山行・西丹沢・土山峠~宮が瀬尾根~辺室山(8)	3/28 西丹沢・ミツバ岳~屏風岩山(4+2)	4/18 総会
3/20-21 BC現地偵察 北信・鍋倉山(1)	4/3-4 BC 北信・鍋倉山(4)	
	4/10 RCT	

こまくさハイキングクラブ

報告:山田日出子 計15名 (男4 女11) 平均 歳

3/14 吉野梅郷(9)
3/28 西丹沢 高松山(10)
4/11 昭和記念公園(15)

4/25 奥多摩馬頭刈山
5/9 久里浜-浦賀 名跡探勝

登山時報 4月号 目次

西北ナパール 辺疆に魅せられて 大西 保 03
未踏峰カトゥンカンは手強かった 佐藤信二 10
第29回総会 創立50周年
大胆な組織改革と重大事故の撲滅を! 14
野鳥との出会い イカル 小枝琢三 福井壽彦 08
連載 クイズ 地図読み迷人
村越真 宮内佐季子 09
シグナル 食糧危機を考える 斉藤義孝 12
山で気になるカンキョーの話 菊池敏之 21
山野井妙子さんを囲んで
第11回東日本女性登山交流集会 小林光子 22
第24回全国雪崩事故を防ぐための講習会
有安孝浩 酒井正裕 24
タカトリ今昔物語 古川純一 26
連載 碧い南の島だより 雨宮節 27
JWAFクリック 28 / 全国連盟の活動 31
専門委員会活動報告 32 / 編集後記 34
インタビュー ひと 樋口英子さん 今野善伸 35
地元会員特選ミニガイド
福岡・国見山～三国山/吉野和記
東京・高水三山/加藤征人 36
ブックエンド 『日本の山と高山植物』他
野口義夫 他 38
あらかると「胆田呼吸法を登山に」原眞(了) 39
会報えつらん室 後藤功一 40
オススメ山道具 小型・軽量スコップ“モグ” 笹原芳樹 42

**寄せられた機関誌、電子ニュース**

東京都勤労者山岳連盟「都連盟ニュース」 2 9 1 (2010.3.25)
岡山県勤労者山岳連盟「労山おかやま」 3 4 5 (2010.4.1)
埼玉県勤労者山岳連盟「埼玉労山」 1 5 6 (2010.3.8)
千葉県勤労者山岳連盟「ちばニュース」 2 0 4 (2010.4.10) 電子版
ナマステ(こんにちは) メールニュース 2010年3月27日(土曜日)臨時号

「ちばニュース」は、理事の方々に電子版で配信されています。

「都連盟ニュース」は、機関誌が郵送されてきています。県連事務所にファイルされています。

また、都連盟のHP上で閲覧できます。

「埼玉労山」は、機関誌が郵送されてきています。埼玉連盟のHP上で閲覧できます。

「労山おかやま」は、機関誌が郵送されてきています。県連事務所にファイルされています。

また、PDFに変換して理事の方々に電子版で配信しています。

県連のスケジュール

		4月	5月			6月
1	木	H Cリーダ学校入校式	1 土		1 火	
2	金		2 日		2 水	登山リーダ養成学校机上講習
3	土		3 月		3 木	
4	日	登山リーダ養成学校入校式	4 火		4 金	
5	月	常任理事会	5 水		5 土	H Cリーダ学校実技講習 スポーツ連盟総会
6	火		6 木	H Cリーダ学校机上講習 登山リーダ養成学校机上講習	6 日	H Cリーダ学校実技講習
7	水		7 金		7 月	連盟news印刷
8	木		8 土	H Cリーダ学校バション山行	8 火	事務局長会議/連盟news発行
9	金		9 日	H Cリーダ学校バション山行	9 水	
10	土		10 月	クリーンハイク第5回実行委 連盟news印刷	10 木	
11	日	救助隊総会 H Cリーダ学校実技講習	11 火	事務局長会議/連盟news発行	11 金	
12	月	連盟news印刷	12 水		12 土	
13	火	事務局長会議/連盟news発行	13 木		13 日	登山リーダ養成学校実技講習
14	水		14 金		14 月	
15	木		15 土		15 火	救助隊運営会
16	金		16 日	H Cリーダ学校実技講習 登山リーダ養成学校実技講習	16 水	
17	土		17 月		17 木	H Cリーダ学校机上講習 事務局部会
18	日	登山リーダ養成学校実技講習	18 火	救助隊運営会	18 金	
19	月		19 水		19 土	
20	火	救助隊運営会	20 木	事務局部会	20 日	
21	水		21 金		21 月	
22	木	事務局部会	22 土		22 火	
23	金		23 日		23 水	
24	土		24 月	クリーンハイクミーティング	24 木	
25	日		25 火		25 金	
26	月	クリーンハイク第4回実行委 自然保護委員会	26 水		26 土	
27	火	常任理事会	27 木		27 日	
28	水		28 金		28 月	自然保護委員会
29	木		29 土	クリーンハイク前夜祭 水質調査	29 火	
30	金		30 日	2010クリーンハイク	30 水	
			31 月	常任理事会		

2010年度の全国的な規模の集会・会議予定

全国組織担当者会議	5月29日～30日	(東京・全国連盟事務所)
全国女性担当者会議	6月26日～27日	(東京・全国連盟事務所)
青年学生クライミング教室	5月8日～9日	(埼玉・日和田山)
青年学生沢登り教室	6月26日	(神奈川・丹沢)
中央登山学校・指導者セミナー	7月	(東京・全国事務所)
創立50周年記念行事 記念講演会「スティーブ・ロング氏」	5月30日	(東京)早稲田大学国際会議場 (井深大記念ホール)
記念レセプション	5月30日	(東京・リーガロイヤルホテル東京)
記念トレッキング	6月	(ブータン氷河湖を巡る調査)